

# Rich Dad

Robert Kiyosaki

# Poor Dad

Letter

1月号  
Part 2



2021年  
世界は  
こう変わる

他人事ではない

## パンデミック後の 世界の勝者と敗者

- ・ 高騰する株式市場、不動産市場の行く先
- ・ 新たな世界大恐慌に備えるためには？
- ・ 私たちはいつ「今まで通りの生活」に戻れるのか？

ロバートと妻のキムはジム・リッカーズとともに、ジムが「新たな大恐慌」と呼んでいるもの、加えて、パンデミックが経済、不動産、ビジネスオーナーに与える影響について話し合っています。さらに重要なことには？あなたがこの先できることは何なのか、知ることができるでしょう。

※この内容は、2021年1月14日に公開されたラジオ番組の対談形式のもので、その時点での情報が話されています。

ロバート：こんにちは。ロバート・キヨサキの The Rich Dad Radio Show です。お金に関する良いニュース悪いニュースをお届けします。

今日は私たちのお気に入りのゲストをお迎えしましょう。

マクロ経済学者、元政府関係者であり、ベストセラー作家、さらには財務コメンテーターでもある、ジム・リッカーズです。

彼は私がとても尊敬している人物です。私は彼のことを「ファイヤーホース<sup>\*1</sup>」と呼んでいます。なぜかって？それは彼が話しているのを初めて見た時、私は「どうやったらそんなに多くの情報が、彼の脳で閃いて飛び出してくるんだろう？私はそんなに速く考えることすらできないのに、彼はその速さで話している。」と驚いたので、

※1 ファイヤーホース：Twitter社が提供する、全ツイートをリアルタイムに取得できるシステムのこと。膨大な数の情報を処理できるという例え。

彼のことをファイヤーホースと呼ぶことになったのです。

ロバート：キムは自宅で待機しているようです。キム、ジムに何か言いたいことは？

キム：本当にたくさんのことが起きているので、ジムと話すのを楽しみにしていました。

ジムは「ストラテジック・インテリジェンス」というニュースレターの編集者です。それは素晴らしい金融ニュースレターですよ。ジムは1月に出版される本「新たな世界大恐慌（原題：The New Great Depression）」の作者でもあり、私はそれについてとてもワクワクしています。

彼は「余波（原題：AFTERMATH）」「破滅への道（原題：The Road to Ruin）」「いますぐ金を買いなさい（原題：The New Case for Gold）」「ドル消滅（原題：The Death of Money）」「通貨戦争（原題：Currency Wars）」なども執筆しました。

あなたのことはいつも頼りにしていて、何かの答えを探すときには、ジム、まずあなたのことを思い浮かべるのですよ。

ロバート：私は彼が書いた本は全部読んでいるのですが、今度の新しい本を読むのが待ちきれません。これは「楽観主義に関する本」だとありますが、題名は「新たな世界大恐慌」なのですね。あなたが「新たな世界大恐慌」について書きたかった理由は、この大変な状況下で少しでも楽観主義者になりたいからだと思うのですが…どうでしょうか？

意見が割れて混乱した選挙、蔓延する新型コロナウイルス、限度を超えて上昇するアメリカ国債…

これが現在私たちの歩んでいるシナリオです。これを踏まえてジムの考えを聞きましょう。ジム、どうお考えですか？

ジム：ご紹介していただきありがとうございます、ロバート、キム。

おっしゃる通りです。本の題名は「新たな世界大恐慌」ですが、それには興味深い副題がついています。本のタイトルは「新たな世界大恐慌 パンデミック後の世界の勝者と敗者（原題：The New Great Depression, Winners and Losers in a Post-Pandemic World）」といます。

私は勝者の部分を強調しています。お金を生み出す手段はいくつもあります。

お金を稼ぐことは確かに多くの人々の関心事であり、お金を稼がないにしても、少なくとも富を守ることは気になるはずですよ。収入と貯蓄の両方があなたを勝者へと近づけるのです。大きな社会的ストレスが蔓延し、パンデミックは明らかにその中心にあります。

本はそのことについて、また私の考えについて書いてあります。それは非常に大きなテーマなのです。

今、何が起きているか、今、私が何を考えているかについてお答えしましょう。今回の本は、私の知る限り最初で唯一のパンデミックと経済、そして新たな大恐慌について考察した本です。

世界中には新型コロナウイルスについて本を書く医者がいますし、経済について本を書く経済学者もいると断言できます。ただ、面白いのは、経済学者は実際には本を書かず、その代わりに記事を書いています。彼らが書くのは学術論文や技術文書なのです。

実際には、これらのテーマについて本を書く人は、ごく限られた少数の人たちだけです。この本は両分野に取り組んだ唯一のものになっています。



私はペンギン・ランダムハウスと仕事をしていますが、編集者の女性は言いました。

「ジム、私たちはあなたに本を書いてほしいと思っています。去年の3月に遡ってみれば、株式市場は暴落して、数週間のうちに30%下落しました。経済状況についての本に今あなたに取り組んでもらいたいのです。経済について私たちが世に出したい本の作者は、あなた以外には考えられません。でも、免疫学と疫学には触れないように。あなたは医者ではないし、それらはあなたの専門分野ではありませんので。」

そこで私は、

「ちょっと待ってください。これは、誰かにハリケーン・カトリーナのことには触れずに2005年のニューオーリンズの物的損害について本を書くように頼むようなものですよ。そんなことはできません。この2つのことは切り離せないのです。」と言いました。

そして、「もちろん経済については書きますよ。ただ、科学的な分析についても私を信用してください。」とつけ加えました。

まず始めに、私は**ジョンズ・ホプキンス大学**<sup>\*2</sup>の学位を2つ持っています。なので、私は自然科学を研究することに抵抗がないので、ニューイングランド・ジャーナル・オブ・メディシン、ジャーナル・オブ・ジ・アメリカン・メディカル・アソシエーション、ランセットなどの医学雑誌に掲載されている学術論文を100本以上読みました。私は医者ではありませんし、これらの論文が私を医者にしてくれるわけではありません。しかし、アクセス可能なこれらの論文から多くのことを学ぶことができました。

※2 ジョンズ・ホプキンス大学：1876年に設立された、医学部、特に公衆衛生学が有名な大学。新型コロナウイルスについて、世界の感染者数、死者数、感染者の分布を示す地図をインターネット上で公開しており、世界保健機関（WHO）や米疾病対策センター、地元メディア報道などのデータを基に最新の数字を随時更新している。教授や卒業生らでノーベル賞を受賞したのは36名以上。[https://web.archive.org/web/20140208002151/http://webapps.jhu.edu/jhuniverse/informa\[...\]/ut\\_hopkins/facts\\_and\\_statistics/nobel\\_prize\\_winners/index.cfm](https://web.archive.org/web/20140208002151/http://webapps.jhu.edu/jhuniverse/informa[...]/ut_hopkins/facts_and_statistics/nobel_prize_winners/index.cfm)

ロバート：ジム、私があなただの言うことを支持する理由は、パンデミックが来る前にパンデミックが来る可能性が高いとあなたが言っていたからです。だから、今日のあなたの考え、次に何が起こるのかを知りたいのです。あなたが言うことは的を射ています。ですので、今日、また次に起こることについてお伺いしたいのです。

パンデミックなのは分かっています。今は多くの人々がワクチンについて、大手製薬会社について、そしてこれら全てのものについて疑い深くなっています。あなたの洞察はよく物事を見抜いている、というよりも、とても深い部分に触れているので、ぜひ教えてほしいのです。

キム：私たちを含めたくさんの方が、2021年に起きることについて考えを巡らせています。

ジム：その通りですね。まず私の2019年7月に出版された本「余波(原題:AFTERMATH)」で述べているのですが、285ページから295ページを見てみましょう…。

現在この本が書かれてから1年と半年の時間が経っています。

内容はパンデミックと他の2つの出来事についてです。そこで、実際に私はパンデミックについて話していました。「パンデミックか、あるいは他の2つのうちの1つが高い確率で、いや、100%の確率で、今後3年間のうちに起こるだろう。」と書いています。

続いて「その出来事は社会的混乱を引き起こし、街には暴徒や軍隊が出動する。」とあるのですが、それはまさに夏の間私たちが目にしてきたものばかりです。実際、同じことが今日オレゴン州のポートランドでまた起こりました。2019年にこの本で予測したこと全てが2020年に起こっているのです。もしあなたがこの本を読んでいれば、そういったことが起こるのを分かっていたでしょう。

さあ、次に起こることについて話しましょう。

最初に言えるのは、私たちが経験したのは自律的景気後退で（景気が政策などの外的な力によらず悪くなっていくような軌道に乗った状況）それは2020年の2月に始まり、おそらく2020年6月30日に実際には終わったとみていいでしょう。確かにそうです。そして2020年の第3四半期は経済成長となりました。つまり、一時的な景気後退は終わったのです。

しかし、それはあまり重要ではないかもしれませんね。私たちは依然として不況の最中にありますから。不況というのは景気後退とは違います。景気後退は定義上、2期連続でGDPがマイナス成長することを指します。

私たちはおそらく2度目の自律的景気後退に突入しようとしています。つまり連続した景気後退で、遥かに長い現象で不況の最中だった1980～81年以来、経験したことのない事態なのです。

2021年第1四半期の私の予想は、大流行が原因で第2の景気後退の渦中にあるということです。

ただ、本の中で触れているのですが、ウイルスは不況を引き起こした犯人ではないのです。ウイルスに対する私たちの反応が不況の原因なのです。ウイルスが引き起こすのはパンデミックや病気、悲劇的な人命の犠牲ですが、不況に陥るかどうかは政策の対応にかかっているのです。

政策の対応は完全に大失敗でした。ロックダウンには意味がないことがはっきりと本には書かれています。

カリフォルニア州知事のギャビン・ニューサム、ニューヨーク州知事のアンドリュー・クオモ、ミシガン州知事のグレチェン・ウィットマー、そして国中の州知事といった全ての政治家が、第2波だとか第3波と呼ぶものに

対して極端な封鎖を強要しているのです。感染者数、死亡者数も再びピークに達しています。これは2020年の3月や4月よりも酷い状況です。消滅しないどころか、今のほうが状況は深刻なのです。

なぜ、そんな深刻な状況になったのか？

その答えが、ロックダウンです。ロックダウンはウイルスの感染拡大を止めることが出来ません。意味がないということが多くのエビデンスで示されています。逆にロックダウンは経済の破壊を招きやすく、一瞬で経済を破壊します。それが今起こっていることなのです。

ですので、実際は2020年の12月から始まっていますが、現在2021年の第1四半期は景気後退だということになります。理由はとても簡単。経済をロックダウンしたのだから、再び一時的な景気後退に陥ったのです。

ロバート、株式市場は過去最高値か、ほとんどそれに近い値に達していることを知っていますね。ただS&P500種指数は実際のところS&P6種指数を意味していて、マイクロソフト、アップル、アマゾン、ネットフリックス、フェイスブック、アルファベット（グーグルの親会社）のことを指しているのです。

この主要な6銘柄がS&Pの40%、つまり時価総額の40%を占めているのです。これは**時価総額加重平均型株価指数**<sup>\*3</sup>で、これらの銘柄はただ不均等だけでなく、インデックスの40%を意味しています。

ですので、S&Pが上場来高値を更新したのを見て「OK、それはつまりアップル、グーグル、フェイスブックなどが高値を更新したという意味だ。だがまず第1に、インデックス内の他の494銘柄はどうだろう？そして第2に、人々は中小企業を見下しているが、ロックダウンで一番影響を受けるのは誰だろう？それはアップルでないのは確かだ。それどころかアップルはこれまで以上に好調だ。」というふうになりました。

ネイルサロンや美容院、バーやレストラン、ドライクリーニング店、給油所、あなたの町の商店、こういったローカルビジネスはどうでしょうか？

あなたはこう言うでしょう。

「そういったビジネスは小規模だから、アップルとは比較にならないよ。」と。

でも考えてみてください。このような中小企業はGDPの45%、米国のすべての仕事の50%を占めているのです。彼らが休業や閉店を迫られるのです。GDPの45%、全ての仕事の50%をシャットダウンして、どうやって景気後退を回避できるのでしょうか？

私たちは今、株式市場の高止まりと現実との間の、奇妙な場所にいるのです。現実はずっと下の方であって、そこでは、話したように経済の半分がロックダウン状態にあるのです。

その溝は埋まるでしょう。株式市場は再び急落して、現実の場所まで下がります。その日が必ずしも明日とは言いません。私はデイトレーダーではありませんが、現実になんかそういうことが起こるでしょう。

私が常々言うことは「現実がいつも勝つ」ということ。

---

※3 時価総額加重平均型株価指数：株価指数の算出方式の一つ。組入銘柄の時価総額の合計を、基準となる一時点での時価総額合計で除算して求めるもの。世界の多くの株価指数がこの方式を元に算出されている。

株式市場への資金流入は、短期間で市場を常識から外れた場所に変えますが、最後には「現実がいつも勝つ」のです。パンデミックの観点から言えば、現実は恐ろしい場所ですが、経済的観点からはさらに酷い場所になるうとしているのです。

キム：ジム、経済を破壊する背景にある課題は何でしょうか？そこでは何が行われているのでしょうか？

ジム：本当にいい質問ですね。それに対する答えは、科学者の傲慢さと政治家の無知が合わさったものだということです。

この人物は誰だかお分かりですか？疾病対策予防センターの研究所所長、アンソニー・ファウチ博士です。彼がトランプ大統領のコロナ制圧タスクフォース<sup>\*4</sup>に参加したのです。彼は現在ではバイデン大統領のコロナ制圧タスクフォースに加えられていて、これがワシントン D.C. で起こっていることです。誰が大統領であろうと困難な状況は続きます。彼は矛盾した、全く間違えた表明をずっと公表していたのです。

彼が言っているのは「私はただの免疫学者です。私はどうすればいいかなんてあなたに言っていません。」ということと同じです。これはまったく馬鹿げています。トランプ大統領は医者に経済を引き渡しました。私が言うのは臨床医ではなく医者、つまり官僚や免疫学者、それに疫学者のことを言っているのです。それについて彼を批判しているわけではありません。いや、少しはそうなのですが。

一般的に政治家というのは「科学者は本当に自分の話す内容を理解しているのか？」という考えに答えが出ないまま、科学者達に全てを丸投げするものなのです。

「科学は確実だ」と言う人たちは、自分の言っている意味が分かっていないのは明白です。だって、科学が新たな発見によって更新されていくことは珍しくないのですから。あなたが本当の科学者と話をすれば、彼らは「私たちは進行中の研究プロジェクトにおいて、矛盾を見つけようとする視点を持っている。私たちは議論を重ね、たとえ解決に近づいたとしても前進する努力は止めない。」と言うでしょう。これが本当の科学者のあるべき姿です。そこには絶対的なものはありません。

昔の人は「トンカチしか持っていなければ、その人にはすべてが釘のように見える。」と言いました。つまり、もしあなたが免疫学者なら、ロックダウンをすれば、すべて解決されるように見えるのです。彼らは他の方法を知らないだけなのですが…

それはそうと、ワクチンが出始めました。これから、どれほど効果的なのか様子を見ることになるでしょう。非常に効果があれば良いのですが。

理想的には、6ヶ月から1年で本当に広域にわたる影響を国民に与えることです。そうなれば最良です。最悪のケースは、試験で見せたほど有効性が続かないということです。全てが早急すぎたので、試験では現れなかった副作用

---

※4 タスクフォース：組織内部で緊急性の高い問題の解決や企画の開発などを行うために一時的に構成された組織のことで、特別な役割を一時的に担う、もしくはその一時的役割を担うメンバー全体を指す。

用も出てくるかもしれません。

急いだことを非難しているわけではありません。ただこのワクチンが、通常の薬がされるべき審査を通過したとは思わないので、言っているのです。ウイルスはとても厄介です。突然変異の可能性もあるし、そして実際にそうになっているのです。もしウイルスが変異するなら、Aバージョンに適合するワクチンがBバージョンでも有効だと誰が言うでしょうか。ワクチンが開発され、先に希望が見えること、これは良いニュースです。悪いニュースだとは言っていないですが、そこにたどり着くまでには通常、長い道のりです。

その間、ウイルスは制御不可能な状態です。経済は景気後退に突入します。株式市場は異常なほど過大評価されているので、修正されることになるでしょう。それがいつなのか、はっきりしたことは分かりませんが、今後3、4ヶ月の間だと予測していいでしょう。投資家はそれに備えてください。

**ロバート**：一番重要なのは、何が起きているのか認識すること。ジムが考えること、言うことをみなさんに理解してもらいたいのです。どうなるか、私も分かりません。経済は再び下落するでしょう。

ジムが言うように、ロックダウンはこの国を踏み潰しているのです。

中小企業は崩壊しています。全ての不況やそういったものは製造業の打撃から来るもので、それがまさしく新型コロナウイルス渦中に私たちが見たことなのです。あなたが出来ることは何か、楽観主義はどこにあるか、明るい側面は何か、そして最も重要ともいえる「新たな大恐慌」にどうやって備えるかについて一緒に探っていきましょう。では後ほど。

= = = =

**ロバート**：再び、こんにちは。ロバート・キヨサキの The Rich Dad Radio Show です。お金に関する良いニュース悪いニュースをお届けします。

今日お招きしているゲストは、最も人気なゲストの1人、ジム・リッカーズです。私は彼の本は全部読んでいて、彼を研究しています。私たちは以前も彼に会ったことがあります。ジムと一緒に食事をしました。それは、素晴らしい時間でした。なぜなら明確な答えがないことを話すことができたからです。

私たちの今日のテーマは「新たな大恐慌について」。これが今世界中の課題です。

キム、ジムに引き継ぐ前に何か言いたいことはありますか？

**キム**：ジム、あなたは前半の番組が終わった時「投資家は備えるべきだ」と言いましたね。投資家は何をする必要がありますか、というよりも、何を準備すべきなのですか？ 良いニュースや悪いニュースに対して、何ができますか？

**ジム**：ああ、1つだけ。このウォール街全体、401K（米国確定拠出年金）、IRA\*5（個人退職口座）構造は人々が株式市場に参入するように調整されています。現在、あなたは資産ポートフォリオの中に株式を保有している

※ 5 IRA: Individual Retirement Accounts の略で、個人退職口座と呼ばれる。米国で最も一般的な退職後資金積立制度で、金融機関に口座を持ち、一定額までの掛金に対し税制優遇がある任意の個人年金。

ことでしょう。何もあなたの株を全て捨てろと言っているわけではありませんが、投資には数々の種類があります。株式、債券の他にも、コモディティ、通貨、オルタナティブ、銀、金、不動産、美術品、天然資源などがそれです。ほとんどの投資家はこういった他の資産のことは知りもしないのです。

私はもちろんポートフォリオに金（ゴールド）を持っていて、およそ10%を占めています。それが50%の人もいます。それは人それぞれです。

私は人々にこうなさいとは言いませんが、私にとってみれば10%はいい配分です。人々は私に、「ジム、それはちょっと危険ではないか？10%の金の保有で、どうやって夜ぐっすり寝られるくらい安心できるのだ。」と聞くので、私は「90%の株式の保有で、どうやって夜ぐっすり寝られるくらい安心できるのだ？それは金を持つよりも、よっぽど怖いよ。」と返します。

株式側も見てみましょう。もう一度言いますが、ご自分を追い詰めないでくださいね。全部の株式を売らずに、気楽に取り組んでください。現金にしてもいいかもしれません。金（ゴールド）も確実に選択肢のうちです。もし金を持っていないならば、金が占める割合を10%にしてみるのはいかがでしょうか。それは金鉱採掘株も含まれます。

金鉱採掘株は上にも下にも金を上回るパフォーマンスをしますが、本当に難しい分野なのです。でも金は今、上向きのトレンドです。それは間違いありません。金鉱採掘株は金よりもパフォーマンスが優れていますが、それら全てが平等に優れているわけではないのです。ところが金の場合は平等ですよ。つまり、金はただの原子番号79の元素であるわけですから。

金鉱採掘株を買う場合ですが、会社の経営をしっかりと注意して見る必要があります。それは差別化の要因になります。非常に優秀で、以前にも良い実績を上げた会社があります。彼らには実績があり、正しい方向を向いているのです。

率直に言えば、中には詐欺を働く人もいます。それをどうやって見分けるか？

そうですね、あなたのために全ての困難な作業や選択を行ってくれる、実証された会社が運営するゴールド・ファンドは存在するので、そういったものが好ましいです。

私は他にも、現金の割合を30%にするよう勧めています。人々は「ジム、現金には利回りはないよ。」と言いますが、実際には1年後にはそれがあなたの最高のパフォーマンスの資産になるかもしれないのです。理由はこうです。

私はインフレではなく、デフレに目を向けています。誰しもがインフレのことを心配しています。私たちは12年か、実際はもっと長い期間インフレを経験していません。前回の深刻なインフレは、1980年代初期まで遡ることになります。インフレは、ある時点では起こりうるでしょう。その可能性を排除はしませんが、デフレはもっと大きな問題なのです。

さて、その問題は何かだと思いますか？

デフレはあなたの現金の価値が上がることをいいます。それには大きな利回りはありませんが、他の全ての値段が下がるので、現金の購買力は強くなります。もし2%のデフレになったとしたら、現金の実際のリターンは2%



です。なぜなら同じ額面通りの額であっても、その価値は大きいのですから。現金も**ボラティリティ**<sup>\*6</sup>を抑制するので、金、まとまった現金はあなたの株の**エクスポージャー**<sup>\*7</sup>を低くします。

不動産ですが、これが非常に面白い。というのも、ロバートとキムは不動産の専門家ですが、ほとんどの人はどうでしょうか？

拡大する経済、低金利などといった同じ要因により、住宅用不動産でも商業用不動産でも、通常は上昇も下落も同じ動きをすることが正しいのですが、今日ではそれが当てはまりません。商業用不動産はロックダウンにより崩壊状態で、それは酷くなる一方です。住宅用不動産は、ある地域では高騰しています。陳腐な表現を使うのは嫌いですが、一に場所、二も場所、三も場所というのは誰もが知っていることなのです。

ニューヨークやシカゴ、ボルチモア、シアトル、ポートランド、カリフォルニアから何百万という人が去り、深刻な人口の大量流出が起こっています。私たちの友人のイーロン・マスクもカリフォルニアから立ち去りました。彼らはどこへ行くのでしょうか？

彼らの行先はフェニックス、スコッツデール、マイアミ、フロリダ、テキサス、ロッキー山脈のいくつかの州、ソルトレイクシティ、コロラドです。これらの場所の人気が出てきています。もし住宅用不動産を手にすることができればいいのですが、個人では少し難しいので、それを手助けするために管理の行き届いたファンドがあるのです。

信じられないかもしれませんが、住宅ローンの利率は史上最低に近い一方で、住宅不足が起こっているのです。私自身は良い学校があるエリアで税率が低く、望みのものを全て備えた中間価格から高額の住宅を貸しています。商業用不動産は底打ちにはなっていません。あと数年は手を出さないほうがよいでしょう。でも住宅用不動産はとても活気づいているのです。

**ロバート**：分からなくもないですね。そうなるであろうことが理解できますよ。

私の質問は、商業用不動産の背後にある資金調達についてです。話が逸れますが、**CMBS**<sup>\*8</sup>は商業用不動産担保証券ですね。サブプライム市場が崩壊したのと同じことなのです。それは崩壊しつつある商業用不動産の元にある金融構造なのです。あなたはどのように考えますか？

**ジム**：かなりの波及効果があるでしょう。賃借人の視点から商業用不動産担保証券のCMBSへの投資に至るまでを見てみましょう。

賃借人はどうなっているのでしょうか？彼らは家賃を払っていません。現在、地域によっては、50%から90%の賃借人が家賃を払っていません。

閉店している理髪店やバーやレストランが家賃を払えていると思いますか？それは不可能です。多くの州は積極

※6 ボラティリティ:ボラティリティとは価格の変動率のことで、商品のリスクの大きさの目安として使用される。価格の値動きが大きいことをボラティリティが高いと言い、価格の変動が小さいことをボラティリティが低いと言う。

※7 エクスポージャー：投資家や金融機関、企業が保有する金融資産のうち、市場の価格変動リスクや特定のリスクにさらされている金額や残高、その比率のこと。

※8 CMBS: Commercial Mortgage Backed Securities 商業不動産担保証券のこと。商業用不動産ローンを裏付け資産とする不動産担保証券の一種で、ホテル、ショッピングモール、オフィスビルなど商業用の不動産に対して実施した融資をひとまとめにし、それを担保にして証券化した商品のことをいう。

的に立ち退きをさせていません。なぜなら、強制退去にはできないからです。ですので、家賃を払わないでも、まだ敷地内にいるかもしれないのです。

私はそれについて良いとか悪いとかを言っているのではありません。ただ、一体どうなっているのだ？と言っているのです。

賃借人にとってみればわずかなキャッシュフローの軽減になるかもしれませんが、家主にとってはどうでしょうか？家主は彼自身にレバレッジをかけて、つまり「私には家賃を払ってくれる賃借人がいるはずだけど、彼らは家賃を払わない。その間、不動産に住宅ローンをかけている。」となります。それは、銀行に支払えないことを意味します。

全ての損失は銀行に降りかかるのでしょうか？それは違います。なぜなら、銀行はローンを組みましたが、それらを商業用不動産担保証券にまとめて押しやったからです。それらはどこにあるのでしょうか？それらはあなたの401k（米国確定拠出年金）やIRA（個人退職口座）のポートフォリオにあるかもしれません。あなたはそれさえも知らないかもしれません。きちんと調べてみる必要があります。

ところで、全てには時間がかかります。これが明るみに出てくるまでには1年はかかるでしょう。一晩では起きません。バーやレストランのいくつかは再び開店するでしょう。実際はそれらの半分以上は永遠に閉まります。誰もが「閉店しているレストランは、パンデミックが終わったらまた開店するだろう。」と思っていますが、それは違います。再び開店はしないのです。それらは店じまいです。オープンは格安の値段で売りに出されます。リース契約は解約されます。店舗は空っぽで、賃借人は誰もいません。それが現実なのです。

ですので、住宅ローンを払えない家主にそれがのしかかってきます。彼らは債務不履行に陥るかもしれないし、陥らないかもしれない。おそらくそうなるだろうし、少なくともローンの再交渉を試みるために金融業者のドアを叩くでしょう。最終的にはこれらの証券に戻ってきて、大規模な損失が発生するでしょうが、それが波及するまでには1年ほどかかるのです。

**ロバート**：最悪のシナリオを教えてください。例えば、もしあなたがレストランを所有していた、あるいはレストランで働いていたとして、それが閉まったとします。それは最悪のシナリオではないかもしれませんが、かなり悪いシナリオですね。あなたは今アメリカのGDPの45%、雇用者の50%のうちの1人なのです。

**ジム**：その通りですね。

**ロバート**：あなたがおっしゃっていた失業者、あるいは失業しそうな人や、事業が倒産した人たちはどうなるのですか？その状況から脱するためにどうやって人々を導くか、何か提案はありますか？

**ジム**：そうですね、とてもいい質問です。**ラリー・クドロー**<sup>\*9</sup>という人物がいますね。ラリー・クドローは個人的にはいい人物だと思っていますが、彼は、私が思いつく限り史上最悪の間違った予想をする1人です。累積需要の話覚えていませんか？3月、4月、5月を振り返っても、いや、今日でも言えることですが、私たちは3月

---

※9 ラリー・クドローはアメリカの経済評論家。ドナルド・トランプ政権下の国家経済会議(NEC)委員長を務めた。

に「経済のことは心配する必要はない。夏には再開して、累積需要がある。」と聞いていました。これは景気回復の兆しと同意義です。

2009年を思い出してください。そこからこの10年で景気回復したでしょうか？過去の成長率が3.2%だったのに対して、2009年からの10年間での成長は2.2%にとどまります。実際は2009年から2019年の間に4兆ドルの生産量の損失がありました。失業率は下がりましたが、どちらかといえば景気回復というよりは、成長の鈍化が起きています。

累積需要について説明しましょう。ロックダウンが最悪だった3月、4月頃の話です。私は普段、妻と一緒に金曜の夜か土曜の夜に食事に出かける習慣がありました。しかしロックダウンの最中は、私たちは他の人々同様、ニューイングランドの山にあるファームに避難していました。

そしてついに7月、いくつかのレストランが再開して、ようやく食事をするために出かけることができたのです。ですが、考えてみてください。もしロックダウンの間15回レストランに行かなかったとしても、久しぶりのレストランで15倍の食事を注文するわけではありませんよね。私たちはいつものように1食分を注文しました。言い換えれば、注文されなかった全ての食事は、永遠に失われたのです。そこには累積需要は存在しません。私は食事には行きました。でも、過去注文するはずだったものは注文しなかったのです。もしレストランが再開したとしても、過去の食事の機会は消えてしまったし、実際多くの場合は再開さえしないのです。

あなたが雇われの身だとしましょう。ロバート、人々が何をしているかといえば、それは貯蓄です。貯蓄率は急上昇しています。それは悪い戦略ではありません。もし職を失ったら、見境ない出費はしたくないはずですから。おそらく家賃や子供の教育費、それが医療費なんかに支払おうとするでしょう。職を失っていない人でさえ、「きっと次は自分の番だ。自分の会社が次に倒産しないだなんて、どうして言えるのだ？次に解雇されるのが自分じゃないだなんて、どうして言えるのだ？」と言い、彼らも貯蓄に励むのです。

個人の場合、これはいい戦略でしょう。しかし集団としてみた場合、経済にとっては大惨事なのです。貯蓄が増えるということは、つまり消費が減るということでしょう。あなたはお金を稼ぐかもしれない、そうじゃないかもしれない。でももしお金を稼いだなら、消費か貯蓄ができるわけです。さて、もし貯蓄が増加するということは、消費が減るということ。これは私たちが不況の中にいて、現在2度目の景気後退に突入していく別の理由です。この不況から抜け出すのが非常に困難な理由です。

個人的な話をさせてもらおうと、私には3人の子供がいて、みんな**ミレニアル世代**<sup>\*10</sup>です。彼らはミレニアル世代にしては割と年齢が上の層ですが、みな30代です。

彼らが20代の終わり頃に大学を卒業する時、私は子供たちとその友人たちにたくさんのアドバイスをしました。2008年、2009年に就職をするのは厳しかったですからね。

私はこう言いました。「自分のビジネスを始めなさい。仕事を自分で作りなさい。」と。そして彼らは実際にそうしました。多くの人がそうして、ちょっとした成功を手にした人もいます。どんな状況でも諦めないことですね。

---

<sup>\*10</sup> ミレニアム（新千年紀）が到来した2000年前後か、それ以降に社会に進出する世代という意味。ミレニアルズとも呼ばれる。一般的に1980年代～2000年代初頭に生まれた世代のこと指すことが多い。

もしウェイトレスやバーテンダーとして働いていたけど仕事がなくなって、それを取り戻すのに苦労しているなら…

困難な経済状況でも人々が必要とするのは何かを考えてみてください。あなたはそれを提供できるでしょうか？言うのは簡単で、大変な作業ではありますが、自分でビジネスを始めたり、人と協力して必要なサービスを提供したりすることは、再びウェイトレスやバーテンダーといった仕事を探すよりも有効です。特にこの状況下においては。

**ロバート：**政府は社会主義寄りの政策を行っています。それが、今できる唯一の方法なのですか？政府はただ紙幣を発行し続けるのですか？

**ジム：**その通りです。ここでは財政政策と金融政策は分けて考えましょう、いいですね。金融政策は完全に無力です。彼らはもっと紙幣を印刷しますが、金利はゼロです。FRB（連邦準備制度理事会：米国中央銀行のこと）はおそらくマイナス金利にはさせないでしょう。ですが市場はマイナス金利をとることもあり得ます。

ところで、金利はゼロに陥っていますが、連邦政府は「金利は2022年もしくは2023年までゼロに近い低い水準を維持する」と言いました。ですが、金利を上げるなら2040年になるまでやってはならないと、私は本気で思っています。

こんな調査報告書があります。私の本に書いてありますが、サンフランシスコ連邦準備銀行の経済学者と学会からの、3人の共同研究者から公に入手可能です。

彼らは黒死病から現在に至るまでの650年間で起きた全てのパンデミックを研究しました。10万人かそれ以上の人が亡くなったパンデミックはたった15しかなく、最大の2つとは、7500万人の犠牲者を出したと言われる黒死病と、もう1つは1億人が犠牲となったと言われるスペイン風邪です。それらは死亡者数であって、感染者数ではありません。感染者数ベースだとその数は恐ろしいほど多くなります。

恐らく、新型コロナウイルスは最終的に、歴史上4番目の規模の感染症に位置することになるでしょう。この調査が示しているのは、「この規模のパンデミックの後、経済成長はいつ戻ってくるのか？平均的な回復にはどのくらいかかるか？」ということです。

研究者たちは、回復には30年から40年の時間がかかると結論づけています。数ヶ月や数週間ではありません。数十年単位だといいます。

私は実際にこれと似たようなことを経験しました。私が育ったのは1950年代、60年代です。私は世界大恐慌の時代に生きてはいませんが、私の両親や祖父母はそれを経験しました。

私は実際にその時代に生きていなくても、大恐慌時代のモノの考え方で育てられたのです。私はアメリカがかなり裕福な時代に育ったのですが、9歳の子どもが新聞やブリキ缶をワゴンの中に集めるために、近所のドアをノックしてまわっていたのです。環境への配慮でそうしていたわけではないですよ。私たちは紙やブリキ缶の鋼鉄を再利用していたのです。新聞を取っておいたり、輪ゴムを捨てたりせずに瓶に集めておけば、タダの輪ゴムが手に入るのですから。

その後、ロックンロールが流行ったりした60年代終わり頃までそのメンタリティは続きました。大恐慌の心理

的影響は30年も続いたのです。この新たな不況の心理的影響もまた30年ほど続くでしょう。今までの普通の生活に戻るのを待っていても仕方ありません。もう以前の生活には戻らないのです。私たちは新世界へと飛び込んでいくのです。

ロバート：ジム、あなたの貢献と知恵、そして歴史的観点からの物の見方には感謝しています。私はあなたの本をただ読んでいただけでなく、研究しているのですよ。私にはその本を用いた研究グループがあって、勉強する度に、それをただ読んだだけでは分からなかった全く別の洞察が得られるのです。あなたが行っているのは、人々の心を開いて、彼らが別の世界を覗く手助けだと言えるでしょう。あなたが近年学んだことを共有してくれることをとても感謝しています。どうもありがとうございます。またあなたにお会いしましょう。

キム：ありがとうございます、ジム。

ジム：ありがとうございます、ロバート、キム。

ロバート：続きは番組に戻ってきたとき、話しましょう。キムと私は話をまとめて、このテーマについての最終的な考えを述べたいと思います。そして私の輪ゴムコレクションはなぜそんなに膨大なのかを説明しましょう。ありがとうございます、ジム。



ロバート：再び、こんにちは。ロバート・キヨサキの The Rich Dad Radio Show です。お金に関する良いニュース悪いニュースをお届けします。今日のゲストであるジム・リッカーズに改めてお礼をいいます。彼はいつだって最高のゲストで、心を開くことについて話してくれました。毎回彼の話には、今まで聞いたこともない何かを発見します。

キム、ジムの話した内容で、何か感想はありますか？

**キム：**ええ、ジム・リッカーズについて私が本当に感謝していることの1つに、私たちが「何をしよう？何をしたらいいの？」と考える時に、彼は何をすればいいのか教えてくれることです。そしてただ教えるだけにとどまらず、彼はその背景や、なぜあなたがそれをすべきか、というもっと大きな全体像を示してくれます。

ただ「株式を清算しなさい。その理由は、かくかくしかじかで。現金を保有したほうがいいです。その理由は、かくかくしかじかで。」と言う感じではありません。彼は、経験や彼がやり遂げたことから深い知識を持っています。それが称賛する点ですね。

「あなたにできることはこれですが、もっと重要なのは、なぜこれがうまくいくのかと考えること」という彼の言葉をありがたく思いますね。

**ロバート：**彼の本には「1500年毎に大きなことが起こる」と書かれています。そして私たちが今いる時点がちょうど1500年なのだそうです。

もしあなたが昔と変わらない幸せな日々がまたやってくると思っていたならば…ひどくがっかりするかもしれません。

とにかく、今すべき最良のことは将来に備えることで、ジム・リッカーズが言うことに私は従うつもりです。

もう一度言いますが、金融の勉強をすることは、今起こっていること、これからやってくることからご自身を守るために最良の方法なのです。何か言いたいことはありますか、キム？

**キム：**いいえ。ただ、みなさん注意して聞いてください。ジムが言っていたように、私たちは以前のような生活には戻れないでしょう。というのも、おそらくここから30年間続いていくであろう新しい世界に突入しているのですから。

これからのことは私にも分かりません。でも、柔軟に、状況を察知して、注意を払うこと。そして教育を受け、学び、何かアクションを起こしてください。

## 撮影秘話

私は3日間、電話ボックスに閉じ込められて過ごしたばかりです。それはちょっと大げさすぎたでしょうか、でも本のオーディオブック版を録音したばかりなのです。

興味深いのは、5年前はハードカバーの本がまず出版されて、そしておそらく1年後くらいに文庫本が出版されていました。現在はKindleでの販売やeブックが急増しています。

多くの方は、「eブックが世界中を占領している。数年後には従来の本はなくなってしまって、全てがeブックに変わるだろう。」と言っていました。実際のところそうはなっていません。Kindleは約30%の市場シェアを占めていますが、30%で頭打ちです。確かに重要ですが、それでも50、60、70%までは伸びません。30%で横ばいなのです。

もしあなたが、「現在の書籍業界の成長分野はなにか」と尋ねれば、それはオーディオブック分野でしょう。それは今大成功を取めている分野で、まだ成長中です。おそらく、いつかはピークに達するでしょう。世界中にオーディオブックファンはたくさん存在します。

「私は本が大好きで、早くそれを手にしたい。でも本は車を運転している時やウォーキングをしている時には読めないから、オーディオ版が欲しい。」という人もいます。

私たちは素晴らしいボイスディレクターの製作チームと仕事をしています。

私はボイスディレクターをからかって、彼のことをボイスディレクターの**スタンリー・キューブリック\***と呼んでいます。

私たちは1つの文章を15回ほど録音し、その中から最適なものを使うのです。当たり前ですが、あなたがオーディオブックを手にしたときは、編集されたものを聞くことになります。しかしそこに至るまでにたくさんのことが起こっていて、出来上がりの制作価値には大変満足しています。もちろん、本自体も存在しますよ。そちらがメインイベントですから。

ジム・リッカーズ

※ スタンリー・キューブリック：「シャイニング」などを手掛けた映画監督。些細なシーンさえも納得するまで撮り続ける姿勢は完璧主義者と言われる。

# 数字で見る狂気

読者の皆様へ

現在のコロナウイルスによるパンデミックの経済的影響を免れることは困難です。

パンデミックの初めに株式市場が大暴落しましたが、今日の市場は史上最高値を記録しています。当初は失業危機があったものの、歴史上の他のどの時代よりも早い回復が見られます。金、銀、ビットコインは史上最高値を記録しています。

一方、全国の主要都市には次のシャットダウンが迫っています。

今は、私の73年の人生の中で最も混乱した時期です。多くの人が同じように感じていると思います。

一見すると、この経済的苦境は、コロナウイルスが原因のように見えます。それが一部の人の失業や、年金の暴落の理由であるかもしれません。

しかし、本当の根本的な問題は何でしょうか？

アルバート・アインシュタインの名言があります。

「同じことを繰り返していて物事が変わることに期待するのはやめましょう。危機は人や国にとって、本物の恩恵になるかもしれません。なぜなら、すべての危機は進歩をもたらすからです。

夜が明けて朝が来るように、創造性は苦悩から生まれます。創造力やイノベーション、発見や大きな戦略も危機から生まれます。

危機を乗り越える人は本人自身が成長し、勝利します。しかし、失敗を危機のせいにする人は自身の才能を軽視し、解決策より問題の方に意識を向けています。

能力を欠いていることが真の危機です。人々と国々の最大の不都合は自身の問題への解決策を見つけようと試みることに怠っていることです。

危機がなければ挑戦はありません。

挑戦がなければ、人生はただの繰り返しでゆっくりとした苦しみになります。



危機なくしてメリットはありません。

危機の中でこそ私たちが私たちの中で最高のものを示すことができます。」

おそらく、あなたはこのとてつもない株式市場の暴落はおろか、財政の混乱に対して金銭的な準備ができていなかったでしょう。

あなたは、このパンデミックの直前には仕事があり、すべての請求書の支払いができていたため、「十分に良い」立場にいたかと思っていたかもしれません。

しかし、結局のところ、あなたの収入は、他の誰かがあなたに給料を提供することに依存しているのです。

実際には、あなたも仕事を失い、失業者となって請求書の支払いができなくなるという状況にいつ陥ってもおかしくありませんでした。

今は外出することすら制限され、仕事に就くのはますます困難になっているので、状況はさらに悪化しています。

もしあなたが世界的なパンデミックの広範囲にわたる経済効果の影響を受けないような立場にいたとしたら、状況はどのように違っていたでしょうか？

まずは、経済がどのようになってしまったかを話しましょう。

## 貨幣の流通速度

お金には「貨幣の流通速度」という用語があります。

これは基本的には通常の通貨単位が、一定期間内に商品やサービスの購入のため何回使用されたかを示す指標です。

例えば、あなたが隣人 A の芝生を刈った代わりに、その隣人 A が 20 ドルをくれるとしましょう。

その通貨は 1 回動きました。

今度は、別の隣人 B にあなたの家の窓拭きをしてもらい、その同じ 20 ドルを彼に支払ったとします。

手から手へ 2 回渡されたことで、今その通貨の速度は 2 となります。

この非常に簡単な例で、GDP は 40 ドルとなりました。

政府は生産に税金を課します。

つまり、その 20 ドルが誰かの手に渡るたびに、政府はそこから分け前を取るようになります。

この20ドルが循環し続けると、GDPは成長し、政府は依然として税金を介して分け前を取ります。

この例では政府はお金を「印刷する」必要がありません。

なぜなら、貨幣の流通が加速し、取引が増えると、税金が増えるからです。

前述の例に戻りましょう。

あなたの隣人Aが世界中で起こっていることに不安を抱いたせいで、あなたを雇って芝刈りをしてもらう代わりに、彼が自分で芝刈りをしたとしましょう。

つまり、あなたは彼から20ドルをもらえず、さらに悪いことに、あなたにはその余分な20ドルがないため、別の隣人Bを窓拭きとして雇うことはありません。

よって、お金が動かず、私たちの想像上の経済は成長せず、税金は徴収されません。

政府が住宅ローンを禁止したため、不動産の貨幣の流通速度が止まったとしましょう。

ほとんどの人が家を買えなくなります。

誰も家を買えなければ、住宅価格はどうなるでしょうか？

住宅価格は急落し、いわゆるデフレになるのです。

1929年に人々が支出を止めたとき、まさにこの状態に陥りました。

この金融ジェットコースターから抜け出す力は、貨幣の流通速度次第なのです。

一方、政府は、問題の解決策は、より多くのお金を印刷することであると考えています。

このパンデミック期間に目にしてきたことは、政府が何兆ものドル紙幣を印刷しているということです。

生産の減少に伴い、貨幣流通の速度が遅くなったためです。

ですが、悲しいことに、実際に政府がお金を印刷しても、それは万人を助けず、金持ちだけを助けるのです。

## 長い物には巻かれろ

誰も話題にしない、きまりの悪い事実を教えてください。

2008年の金融危機以降、不動産のような資産の価格高騰によって金持ちになっているのは、金持ちだけです。

基本的に、あなたが1パーセントの金持ちに属しているのであれば、あなたはFRB（アメリカ中央銀行）

から儲けたのです。

ですから、「長い物には巻かれろ」というマントラに従って生きることは、理にかなっていると思いませんか？ 私は理にかなっていると思います。

それは金持ちがこれまでしてきたことであり、これからも変わりません。

私の不動産アドバイザーであるケン・マッケルロイは、また不動産が暴落し、掘り出し物件が出回るので、現金を用意するように人々に勧めています。

暴落が好きだといつも私が言っているように、金持ちは安値で買い物をして金持ちになるのです。

彼らは、安値で最高の株を買うために、株式市場の暴落を待っているのです。

安値で不動産を購入できるように、暴落を待ち構えているのです。

彼らは、金や銀、ビジネスを安値で購入するのです。

私の経験では、暴落が差し迫っていることを知る方法は、「馬鹿が投資家になる時」です。

2008年以前に、不動産の暴落が迫っていることを私は知っていました。

私のアパートの空室率が高くなっていました。

収入も仕事もない人たちが家を購入していました。

家賃を払えない人たちが突然豪邸を購入していました。

今日同じようなことが起きていることがわかります。

考えてみてください。数百万人が失業している世界的パンデミックの最中に、不動産は飛ぶように売れています。これは異常な状況です。

FRBを打ち負かそうとするのではなく、FRBの仲間になって金持ちのルールに従いましょう。

貧困層や中間層は、お金のためにあくせく働き続け、稼げば稼ぐほどより多くの税金を払い、収入を貯蓄や退職金口座に預けるのです。

その間にも、老後の生活に不自由しないことを願いながら、生活する上でのキャッシュフローを全く受け取らないのです。

中央銀行がお金を印刷すればするほど上昇する資産に投資する、という金持ちのルールに従うことは、理にかなっているのではないのでしょうか？

敬意をこめて。

ロバート・キヨサキ  
編集 Rich Dad Poor Dad Letter

## < 免責事項 >

- ・ 当社の商品、およびコンテンツは、お客様の投資判断や運用戦略のご検討にあたり参考となる情報の提供を目的として作成されたものであり、実際の投資等に関わる最終的なご決定はお客様ご自身のご判断で行って頂きますようお願い致します。
- ・ 当社の商品、およびコンテンツは、お客様の投資におけるいかなる利益も保証するものではなく、また、投資の結果によってお客様が思わぬ損害を被る可能性もあるため、投資を行われる際にはお客様ご自身で投資のリスクを慎重に検討されますよう併せてお願い致します。
- ・ 当社の商品、およびコンテンツに掲載されている情報は、当社が信頼できると判断した情報源から入手した情報等によっておりますが、当社がこれらの情報の正確性等について、全て、独自に検証しているわけではありません。当社はこれらの情報の正確性、適時性、網羅性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何らの表明又は保証をするものではありません。当社は、当社の商品、およびコンテンツの内容及び提供、並びにお客様による第三者への開示等について、お客様その他当社の商品、およびコンテンツの閲覧者に生じた一切の損害、損失又は費用について、損害の性質如何を問わず、直接損害、間接損害、通常損害、特別損害結果損害、付随損害、逸失利益、非金銭的損害その他一切の損害を含め、これらについて債務不履行、不法行為又は不当利得その他請求原因の如何を問わず、何ら責任あるいは義務を負わないものとします。
- ・ 当社の商品、およびコンテンツ中における、シミュレーションやバックテストについては参考データ等のご提供を目的として作成したものであり、将来の利回りを保証するものではありません。

Rich Dad Poor Dad Letter 1 月号 - Part2

発行日 2021 年 1 月  
著 者 ロバート・キヨサキ  
発行者 寺本隆裕  
発行所 APJ Media 合同会社  
大阪府大阪市中央区南船場 2 丁目 5 番 1 2 号  
クリスタファイブ 10F

©2021 APJ Media, LLC All rights reserved.

※この電子書籍の全部または一部を無断で複製、転載、改竄、公衆送信すること、および有償無償にかかわらず、本データを第三者に譲渡することを禁じます。